

芦屋市民会館（本館）ZEB化改修事業について

1 経過

- ◆令和4年12月 空調設備の改修に併せ、市が率先して行う脱炭素への取り組みとして、市民会館（本館）のZEB化改修（設計・施工一括発注）を実施するため補正予算の承認
- ◆令和5年 2月 プロポーザル方式で業者選定手続き⇒応札者不在により不調
- ◆令和5年 5月 事業者への公式サウンディング調査を実施し、設計・施工分離発注方式への変更を決定
- ◆令和5年 6月 民生文教常任委員会所管事務調査にて発注方式変更報告

2 芦屋市民会館（本館）ZEB化改修実施設計プロポーザル結果

- ◆契約件名 芦屋市民会館（本館）ZEB化改修 実施設計等業務委託
- ◆契約日 令和5年8月30日
- ◆設計者 大阪市西区京町堀1丁目15番7号
株式会社 坂倉建築研究所 大阪事務所
- ◆契約金額 18,480,000円（うち消費税1,680,000円）
- ◆履行期間 令和5年8月30日～令和6年3月31日

3 芦屋市民会館（本館）の改修方針

実施設計の結果を踏まえ、芦屋市民会館（本館）ZEB化改修事業にかかる方向性の見直しを行った。

ZEB Ready 認証を取得するためには、改修工事費が概算で約11億6千万円程度見込まれたことから、市民会館（本館）のZEB化改修を見送り、省エネ対策として照明器具のLED化改修を令和6年度に、空調設備改修を令和7年度以降に実施することとした。

今後も引き続き、公共施設について改築・改修を行う際は、ZEB化を検討するとともに省エネ・創エネを推進する。